

ユネスコ無形文化遺産

国指定重要無形民俗文化財

角館祭りのやま行事

角館のお祭り

九月七日・八日・九日
秋田県仙北市角館町



毎年9月7日から9日、角館神明社と成就院薬師堂の祭典に合わせて行われる祭りで、18丁内から出される武者人形や歌舞伎人形を飾った大型のヤマを江戸時代から残る町並みで曳き回します。

ヤマには「おやま囃子」の囃子が乗り、囃子に合わせて「手踊り」が舞われます。ヤマは角館神明社、成就院薬師堂を参拝して囃子と踊りを奉納し、江戸時代角館を治めた佐竹北家当主の上覧を仰ぎます。

祭り期間中、曳き回すヤマの道筋が決まっていないのがこの祭りの特徴です。参拝や上覧の時間や道筋は、各ヤマがそれぞれ独自に決めます。そのため城下町の狭い道路でヤマ同士が頻繁に鉢合わせとなり、その都度通行優先権をめぐり交渉が行われます。交渉が決裂するとヤマのぶつけあい「やまぶつけ」が行われます。

この祭りは江戸時代中頃から神仏への信仰とともに地域の繁栄、豊作、無病息災を願い、当時の町割りや武家屋敷、自然が今も残る角館で脈々と受け継がれてきました。1991年(平成3年)に「角館祭りのやま行事」として国の重要無形民俗文化財に指定され、2016年(平成28年)には全国33件の「山・鉦・屋台行事」のひとつとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。



成就院薬師堂



角館神明社